

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 便潜血検査への影響因子の検討

研究の目的

大腸癌は国内で最も罹患者数が多い癌です。特に 40 - 50 代以降に大腸癌は増加することから、高齢化社会に伴い大腸癌患者も増えています。大腸癌早期発見のための集団検診は弘前大学が世界に先駆けて開始し、現在では便潜血反応検査が大腸癌検診として世界に広く普及しています。便潜血反応は大腸癌そのものではなく、便の中に含まれる血液成分（ヒトヘモグロビン）を検出する検査のため、大腸癌ではなくても、大腸ポリープや痔核、その他にも大腸粘膜が出血しやすい場合にも陽性となる可能性があります（偽陽性）。最近、いくつかの基礎疾患を抱える高齢者が多く、血液をサラサラにする作用がある抗血栓薬など出血しやすさに影響を与える薬剤を服用している患者様も増加しています。

そこで当院において便潜血反応検査を施行した患者様について、大腸癌ではないのに便潜血陽性の方（偽陽性群）と便潜血が陰性の方（陰性群）の特徴を調査して、便潜血反応の検査結果に影響を及ぼす大腸癌以外の要因を調べます。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2028 年 03 月 31 日

対象となる方： 2021 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの期間に、当院にて便潜血検査を行った 18 歳以上の方。

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

本研究では、電子カルテ内から対象となる方の情報（性別、年齢、基礎疾患、内服薬、大腸癌家族歴、血液検査値（血算）、腹部症状、便潜血反応の検査結果、大腸内視鏡検査結果）を利用します。この利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

本研究は匿名化した情報について、大腸癌ではないのに便潜血反応陽性の方（偽陽性群）と便潜血反応陰性の方（陰性群）を比較して統計学的解析を行い、大腸癌以外に便潜血反応検査に影響を及ぼす要因を明らかにします。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科 地域医療学講座 菊池英純 連絡先電話番号：0172-39-5053 E-mail: hidezumi@hirosaki-u.ac.jp
-------	---